

乳がんの情報

乳がんは女性がんのトップです！

乳がんは、乳房で母乳を作る小葉組織や母乳を乳首まで運ぶ乳管組織から発生する悪性腫瘍です。

乳がんの発生は、20歳を過ぎてから認められ、30歳代ではさらに増え、40歳代から50歳代がピークです。

1996年に女性の罹患率第1位です。(図1)

日・米・英における死亡率の比較

日本だけが上昇傾向にあります。2011年の乳がん死亡者数は約13,000人です。(図2)

増えている乳がん

脂肪や動物性たんぱく質の多量摂取など、食生活の欧米化の影響で、大腸がんとともに乳がんは増加傾向にあります。

特に50～60歳代の死亡率が増えています。

乳がんにかかりやすい人は？

閉経後の肥満・喫煙・過度のアルコール摂取・早い初経・遅い閉経・初産年齢が高い・出産数が少ない・授乳経験が少ないなどがいわれています。

遺伝性乳がんについて

乳がんの5～10%は遺伝性であるといわれています。近い血縁の二人以上が乳がん、若年乳がん、両側性・多発性乳がん、男性乳がんなどは遺伝性乳がんの可能性ががあります。遺伝子検査で遺伝性乳がんが疑われる場合にはそれに合わせた治療や検診が行われます。

乳がん治療方法は？

手術には乳房温存術と乳房全切除術があります。また乳房の膨らみを新しく造る乳房再建手術もあります。手術後に放射線治療を行うこともあります。

乳がんには色々なタイプがあり、それぞれにあった抗がん剤治療、ホルモン治療、分子標的治療を手術の前後に行います。

